

研究課題：AYA 世代小児がん患者への入院中の心理支援についての検討

1. 研究の目的

がん診療領域において、現在、思春期・若年成人（AYA）世代（15歳～39歳）への心理社会的なサポートの重要性が注目されています。当センターでもAYA世代へ心理的な介入が行われています。本研究では、心理職が実施してきたピアグループの実施や「AYAだより」の配布、「入院中のこころの話」の冊子の配布について振り返りを行い、今後のAYA世代への心理職の介入の質的向上を図ることを目的としています。

2. 研究の方法

2017年11月～2024年7月までに当センター血液腫瘍科に入院したAYA世代の患者様で、ピアグループ、「AYAだより」、「入院中のこころの話」の冊子を通じて心理職が介入していた患者様が対象となります。診療録にある、心理職の介入の記載をまとめ、心理的介入の有効性について検討します。

3. 研究期間

2024年9月（倫理委員会で承認を得られた日）より2029年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

性別、年齢、入院からの日数、ピアグループや「AYAだより」、「入院中のこころの話」の冊子に関する記載等の情報を調べ、まとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：保健発達部 主任 矢崎知子
研究分担者：保健発達部 副部長 成田有里
保健発達部 副技師長 黒田舞

保健発達部 副技師長 森秀都
保健発達部 非常勤 鈴木優梨亜

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年12月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）